

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成21年3月9日

【評価実施概要】

事業所番号	2271100832		
法人名	特定非営利活動法人 友愛ホーム		
事業所名	グループホーム手鞠		
所在地 (電話番号)	沼津市西島町8-25 (電話) 055-933-2571		
評価機関名	静岡県社会福祉協議会		
所在地	静岡市葵区駿府町1-70		
訪問調査日	平成20年11月17日		

【情報提供票より】(平成20年9月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤	7 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 8 人

(2) 建物概要

建物形態	<input checked="" type="radio"/> 併設	<input type="radio"/> 単独	<input checked="" type="radio"/> 新築	<input type="radio"/> 改築
建物構造	鉄骨造り			
	3階建ての		2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000円)	有りの場合 償却の有無	有(1年)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	1日当たり		1,300円	

(4) 利用者の概要(平成20年9月30日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名	
要介護1	4 名	要介護2	1 名			
要介護3	2 名	要介護4	2 名			
要介護5	0 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	83 歳	最低	72 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	勝呂医院、シラカベ歯科、守重医院、海野皮膚科
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者の熱い思いが凝縮されたホームである。ホームは2階にあり、1階にデイサービス、3階に有料老人ホームを併設し、それぞれの目的に合った高齢者が利用している。近くに大きな川があり利用者の散歩コースとなっている。ホームの前は現在空き地になっているが、近々大きなショッピングセンターができる予定があり、利用者にとって新たな楽しみが増えると思われる。介護度の重くなる利用者にとってより良い日々、尊厳のある生活を送ることができる手段を見つけ継続していくことを期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>介護計画策定は、関係職員全員で取り組むには至っていないが、ケアマネージャーの交代に伴い、職員全員が共有化できるように改善に向けて取り組んでいる。入浴に関しては利用者に合わせて臨機応変に対応するよう支援している。職員の意見を取り入れ、研修及び資格取得に対して積極的に援助する体制づくりに取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者が会議の際に外部評価の意義などを伝えているが、自己評価については職員全員での取り組みがない。自己評価を行うことで、ホームに関わるすべての職員がケアの本質を理解することができるので課題を整理し、改善に向け、寄り良いケアが提供できるよう期待する。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域の民生委員、婦人会役員、家族等の参加により、2ヶ月に1回開催している。内容は、お互いの意見交換で終わることが多いので、メンバーからの提案等を引き出す会議となることを期待する。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関に苦情窓口担当者を明示するとともに意見箱を置き、幅広い意見を取り入れる努力をしている。家族の訪問時には利用者の生活状況の報告を行い、家族が意見や不満などを言いやすい環境づくりに努めている。また訪問できない家族へは、1ヶ月毎に文書で報告している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との連携を密にするため、運営推進会議に自治会役員の参加を依頼している。利用者は外出時に近所の方に声をかけたり、庭先の花をみる等、楽しんでいる。また、定期的に介護相談会を開き、地域に役立つ情報を発信し、介護教室などにつなげている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「認め合い・支え合い・感謝と笑顔」という理念を掲げ、地域の中で実践に取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員はミーティングの際、理念を確認し、理解と共有に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設前から自治会に出席したり、老人会に参加するなど地域に馴染むよう努めている。当初は散歩や近隣のごみ拾い等を積極的に行っていたが、5年を経て入居者の身体的低下があり、参加継続が困難になったため、新たな交流方法を検討している。	○	入居者の身体的低下を考慮し、幼稚園児や小学生等の慰問行事の受け入れ等にも取り組まれない。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員で外部評価結果の内容を読み合わせ、確認や評価に対する改善策を考え、実施につなげている。	○	管理者と職員が共に自己評価を実施し、お互いの評価の相違点を話し合っ改善点を検討し、ケアの向上に努められたい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、婦人会役員、家族、地域包括支援センター職員等の参加を得て、2ヶ月に1度開催している。また遊技場の店長に出席依頼をし、認知症について勉強してもらっている。会議を活発化することで、ホームと地域との信頼関係が芽生え、認め合える関係づくりに努めている。	○	運営推進会議で自己評価の内容を説明し、委員からの声をいただき今後のサービス向上につなげられたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が定期的に市担当者と連絡を取り、ホームの現状を報告している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来所時、入居者の近況を説明している。面会に來れない家族には、金銭管理報告書の送付と併せて、近況を報告している。ホーム便りで行事やイベント等を連絡していたが、家族の意見で発行をやめた経緯がある。	○	利用者の状況を家族にも共有してもらえよう、内容を工夫してホーム便りの復活を検討してほしい。また職員の異動等についても便りを利用して知らせしてほしい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の中で、家族の率直な意見を取り上げている。また利用開始時、サービス内容に関する苦情相談窓口や意見箱について説明している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職はあるが、職員交代による入居者への負担軽減のため、利用者との信頼関係の構築に努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回内部研修を実施している。外部研修への参加も検討しているが、日々の業務が忙しく調整が難しい。また、資格取得の希望がある職員には積極的に支援している。	○	利用者への対応について、職員に不安な様子が伺えた。管理者は、職員育成のための研修の重要性は理解しているので、研修計画を立てて、職員のやりがい及び知識・技術の向上につなげたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡協議会や沼津市グループホーム協議会に出席している。同業者と交流し、情報を得ている。	○	管理者だけでなく、職員も交代で会議に参加し、同業者の工夫、アイデアの情報を得て、介護技術の向上につなげたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用申し込みの際は、見学後、管理者と職員が自宅を訪問して話し合い、入居を検討してもらっている。また、デイサービスを利用してから入居するケースもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の残存能力を活かしながら暮らすためにセンター方式を利用し、日常生活では職員が利用者の話を十分に聞き、できることをやってもらいながら、支え合う関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃から利用者の思いの把握に努め、情報をもとに職員間で話し合い、利用者や家族の希望に添えるよう努力している。	○	管理者、職員がそれぞれ相互に知り得た情報を確実に伝える方法や手順を検討し、利用者にとって必要なケアに結びつけられたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケース会議を行い、利用者や家族の意向を踏まえた介護計画を策定しているが、職員の参加が少ない。	○	家族の意向のみで作成された介護計画であるため、職員の日々のケアの中での気づきや思い、意見を聞くケース会議を行い、介護計画に反映されたい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画には見直しの期間が明記されている。状況に変化が生じた時は見直しを行っているが、本人、家族の意向そして内容が反映されていない。	○	利用者及び家族の思いを受け止め、介護計画に反映させることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者は日常的に併設のデイサービスを利用することができる。また定期的に介護相談会を開催し、認知症について役立つ情報を提供している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回かかりつけ医の往診がある。現在、透析患者が3人いるので健康管理に気を配っている。かかりつけ医以外への医療機関の受診支援も行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期には家族と十分話し合い、要望を取り入れターミナルケアを実施している。医療機関との協力体制も築いている。	○	職員がターミナルケアへの対応について不安があるため、職員相互が連携し、ケアの向上につなげることを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホームでプライバシー保護に関する研修を実施している。また、利用者の尊厳を守るような声かけや対応について、管理者が指導を行っている。	○	言葉かけについては、職員間で十分話し合い、日常的に確認と、より良い対応方法について検討してほしい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日、利用者に希望を確認し、入浴や買い物等、できるだけ利用者のペースに合わせた支援を心掛けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事の準備・配膳・片付けを行っている。透析の方の食事管理は1日の総カロリーで調節している。職員も一緒に食卓を囲み、会話をしながら食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間・曜日は決めているが、利用者の希望に添って臨機応変に対応している。明るく安全な風呂場で入浴を楽しめるよう工夫されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	開設当時からみると利用者の介護度が重度化し、これまでと同じ方法での支援は難しくなっているが、一人ひとりの思いに沿った支援に努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節ごとの行事(桜の花見、花火観覧、菊花展等)を取り入れ、外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の行動や思いの把握に努め、日中は鍵をかけず、自由に行動できるよう支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、定期的に防災訓練を行っている。AEDを設置し、消防署の方に依頼して講習を行い、地域の方々へ還元できるように考えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分補給について、バイタルチェック表に記載している。透析が必要な方に対するの支援などに職員の負担が増している。	○	献立の栄養バランスについて、栄養士に確認を依頼し、カロリーや栄養状態の把握に努められたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は広く、手すりも配置されている。またソファやベンチが所々に置かれ自由に休むことができるよう配慮されている。また畳を敷いた和の空間が利用者にとっての安らぎの一助となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドはホームで設置している。家族の写真や手工作品が置かれ、一人ひとりの個性が表現されている。		